2021年度地域活動助成費【社会貢献】

三鷹市の観光振興に向けた「三鷹健康まち歩きマップ」の作成

古本 泰之（外国語学部観光交流文化学科）

活動の目的

観光分野においては、コロナ禍の現在、新たな楽しみの一つとして自地域で観光を楽しむこと（いわゆるマイクロ・ツーリズム）、その中でも特に街歩きに注目が集まっている。

2020年度に申請者のゼミナール学生が街歩きに関するマップを収集したところ、三鷹市内においても既に何件か作成されていることが明らかになったが、三鷹をよく知る周辺住民に手に取ってもらうには、単なるスポット紹介を超えたさらなる工夫がいると感じられた。利用者の裾野を拡げるためには、他地域の街歩きマップと比較した際に特徴的となる「違い」を作って、注目を集める必要がある。

そこで、三鷹市やその周辺自治体で三鷹市になじみのある高齢者をターゲットとし、三鷹の魅力を再発見しつつ健康増進を図ってもらうマップの原案を、申請者のゼミナールの学生が「みたか都市観光協会」や本学保健学部理学療法学科・石井博之ゼミナールなどのご協力の下に2020年度に作成した。

そこで本活動は、原案をブラッシュアップした上で印刷物として発行し、市内において頒布することを目的とした。

活動の概要

マップの原案は2020年度で作成を完了しているため、申請者と申請者が担当するゼミナール学生有志により、紙媒体での完成を目指した。

① 様式：A3×1枚表裏（カラー印刷）合計3,400部（うち1,300部分を本助成費で充足）

② 内容：「三鷹市の今昔比較（主に三鷹駅前周辺）」「農家直販所巡り」
（コースの詳細に加え、運動に関する基礎情報を掲載）

③ 連携先：みたか都市観光協会、三鷹市新川地域周辺農家

④ 活動内容

5～7月：市内各所への調整・校了　　7月：印刷開始　　9月～：市内各所に配布・配架、広報開始

その後も各所からの要請に基づき追加印刷（別経費）

完成したマップ

運動習慣に配慮した情報を掲載した点、農業直販所を舞台とした点など、ユニークな視点が評価を受けて当初想定していた部数を越える発行・配布へとつながった。

新たなテーマや、別の農業直販所を追加したマップの作成について地域から期待が寄せられており、今後検討していく予定である。